

エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

第10回

いま、注目の呼吸器疾患

「間質性肺炎」・「肺NTM症」

ってどんな病気？

福島 清春 氏

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任助教(常勤)

(兼)大阪大学大学院医学系研究科, (兼)大阪大学微生物病研究所, (兼)大阪大学国際医工情報センター

会場参加(※事前申込要) / オンライン参加(申込不要)

2024年1月26日(金) 19:30 ~ 20:30

・会場: グランフロント大阪 北館 2F SpringX

・オンライン: YouTube Live

エビデンスと共に考える「いのち」と「暮らし」を豊かにする講座

2021~2022年度の2年間、大阪大学感染症総合教育研究拠点(CIDER)は、『感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座』を通じて、パンデミックという緊急事態に対応する方法をお届けしてきました。今年度からは、パンデミック後の社会や将来のパンデミックをみすえて講座をリニューアルして、科学的根拠(エビデンス)と上手に付き合いながら、私たちの「いのち」と「暮らし」を豊かにする術(すべ)を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象に、わかりやすく解説する全12回のプログラムです。

講座概要

肺は呼吸を行うことによって外界と接しているため、アレルゲンなどの異物やウイルス・細菌などの病原体の脅威に常にさらされています。本講義では、肺の病気、特に難病に指定されている「間質性肺炎」や近年患者さんの数が急増している「非結核性肺抗酸菌症(NTM症)」についてわかりやすく解説します。「間質性肺炎」は、症状は咳や動いたときの息切れと特徴が少なく、見過ごされることもある病気です。進行すると肺が固くなり(肺線維症)、呼吸不全を起こします。「NTM症」は、身の回り(生活圏内)にいる環境菌が原因であるにも関わらず、時に重篤な感染症を引き起こします。

今わかっていること、治療法、私たちにできる予防法や健康管理について考えてみたいと思います。

講師



福島 清春 氏 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任助教(常勤)
(兼)大阪大学大学院医学系研究科
(兼)大阪大学微生物病研究所
(兼)大阪大学国際医工情報センター

大阪大学医学部卒業。博士(医学)、呼吸器専門医・指導医。呼吸器内科医として西宮市立中央病院、大阪大学医学部附属病院等で勤務。大阪大学大学院医学系研究科博士課程、大阪刀根山医療センター 呼吸器内科、大阪大学大学院医学系研究科 総合地域医療学寄附講座助教を経て、2021年から現職。呼吸器臨床と基礎医学研究の融合を目指し研究をおこなっている。

▶ 1月26日開催講座の詳細・
会場参加申込・オンライン視聴はこちら

<https://kc-i.jp/activity/chogakko/cider2023/detail20240126.php>



▶ 過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>



主催 CIDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点

☎ 06-6879-4903

✉ info@cider.osaka-u.ac.jp🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>

CIDER